

佳作

夢に続く道

宮城県気仙沼市立気仙沼中学校

2年 藤村 由奈

今日も学校か。行きたくないな……。なんかお腹が痛くなってきた……。

中学校に入学したばかりの私は、毎日ゆううつな朝を迎えていた。小学校の頃から、たまに友達とトラブルを起こしたり、嫌なことがあると学校を休んだりしていた。中学生になって、そのもやもやはさらに悪化し、私は出口の見えないトンネルをさまよっているような気分だった。

そんなある日、私の心を変える出来事があった。中学2年生の職場体験学習で、以前からヘアメイクに興味があった私は、美容室での体験を希望した。

「いつも笑顔を意識し、お客様には笑顔で挨拶してください。」

という店長さんの言葉でスタートした職場体験。その言葉のとおり、スタッフの皆さんはいつも笑顔だった。お客様が混み合って忙しい中でも、周囲をよく見て、互いの仕事を補い合っていた。話し好きのお客様もいれば、表情が硬い人もいる。どんなお客様とも積極的にコミュニケーションをとって、一人一人の要望を聞き出し、最後にはみんな笑顔で店を出て行く。ヘアメイクは、みんなを幸せにする魔法だ。

なんてすてきな仕事なんだろう。職場体験が終わってから、私は美容師の仕事に就くためにどうしたらよいか調べてみた。必要な資格や国家試験の問題、仕事の内容、流行のヘアメイクなど、調べれば調べるほど、美容師への憧れは強くなっていった。同時に、今努力すべきことが明確になった。

まず勉強を頑張ること。現在の日本に多くの外国人がいる。国語や英語で語彙力を身に付け、さまざまな国の人々とコミュニケーションがとれるようになりたい。髪を染めたりパーマをかけたりする美容室ではたくさんの薬品を使うことになる。それぞれの薬品の成分や配合など、科学の知識や数学の計算力も必要だ。また、お客様とコミュニケーションをとる際には、社会の出来事やルールを知っていることも重要である。接客業においてお客様とのトラブルを回避するためには、法律を学ぶ必要があることも分かった。

次にコミュニケーション能力を高めること。美容師の仕事はさまざまなお客様と関わることはもちろんだが、この仕事は自分一人でするものではなく、多くのスタッフさんとの共同作業である。だから、異なる立場の人やさまざまな世代の方々とも上手にコミュニケーションがとれるような大人になりたい。

これまでの私は、学ぶ意味も分からず、努力もせず、嫌なことから逃げてい

た。でも、夢ができたことで、新しい自分に出会うことができた。学校の授業をしっかりと聞いて、自分でも勉強するようになった。普段から、できるだけ笑顔で過ごし、友達や地域の方と積極的に挨拶を交わしている。かなえたい夢があるから頑張れるのだ。

ふと気付くと、自分を取り巻く世界が変わっていた。私は、学級委員を任せ、バスケットボール部の部長となった。まだ、うまくいかないことの方が多いが、友達や先生が支えてくれる。そのことに、とても感謝している。勉強は、なかなか結果が出なくてくじけそうになるけれど、あきらめたくはない。これからはたくさんの壁にぶつかるはずだ。それを、自分の力で破り、乗り越えていくのだ。ぶつかっては越えてを何回も繰り返して、ようやくになりたい自分になれる。「美容師になって、たくさんの人を幸せにしたい」と本気で思ったあの日から、私は少しずつ前に進んでいることを、今、実感できる。

夢を追いかける中で出会った言葉がある。

—— 過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる！

嫌なことから目を背け、周囲への不満ばかり口にしていた過去の自分はもういない。自分自身が考え方を換え、行動を起こせば、そこに進むべき道ができる。その道は、私の夢につながっている。

今、私は夢に向かって現在進行形。夢に続くこの道を、一步一步、自分の足で進んでいく。